

健全育成委員会 活動報告



山形県立寒河江工業高等学校PTAの活動
(寒河江神輿祭への参加支援)

ごあいさつ



東北地区高P連健全育成委員長
結城 昌明

昨年度に続き、山形南高校で引き継いだ健全育成委員長でしたが、皆様のご協力のもと無事に終えることができました。ありがとうございました。

本報告書では、「登校時一声運動・マナーアップ運動」を中心に経年の変化までわかる形でまとめてあります。また「絆を育むPTA活動」～親子の絆を深め、地域とつながる～のもと、各県の取り組みも紹介させていただきました。

社会環境が速い速度で変化する中、子供たちが「生きる力」「夢見る力」を身に付けられるように、私たち親ができることは何か？

私たちは子供たちを信頼し、焦らず見守りながら、子供たちと社会や未来の懸け橋となるべく、情報と良識の共有を図らなければならないのだと思います。

「健やかに幸せに育ててほしい」同じ思いを持つPTA会員同士、手を取り合って様々な活動を成し遂げていきましょう。

活動方針

全国高P連健全育成委員会の平成15年から3か年間にわたる意識調査の結果、子どもたちの人間関係の希薄化が明らかになりました。また、近年のメディアやITの発達、スマートフォンの普及などにより、この傾向が一層進行していくことが懸念されています。そこで委員会では、人間関係の回復を目指す活動を推進してきました。中でも「登校時一声運動・マナーアップ運動」は大切な命を守る観点にも立った中心的な取り組みとして続けられてきました。このような経緯を踏まえ、東北地区高P連健全育成委員会では、今年度もこの運動を柱にして活動を展開することにしました。

東北地区高等学校PTA連合会 健全育成委員会

委員長	山形県	結城 昌明	(山形県高等学校PTA連合会会長・山形県立山形南高等学校)
副委員長	山形県	高橋 靖	(山形県立寒河江工業高等学校)
副委員長	秋田県	川口 広美	(秋田県立小坂高等学校)
委員	青森県	中野 真弓	(青森県立八戸西高等学校)
委員	岩手県	下館 佳光	(岩手県立久慈高等学校)
委員	宮城県	一條 一平	(宮城県白石高等学校)
委員	福島県	吉野 敏治	(福島県立田村高等学校)

編集・発行

平成29年度 東北地区
高P連健全育成委員会

事務局：

山形県高等学校PTA連合会
〒991-8501
寒河江市大字西根字石川西355
TEL・FAX 0237-85-0070
E-mail : yhs-pta@axel.ocn.ne.jp

登校時一声運動・マナーアップ運動

(青森県立八戸西高等学校での指導の様子)



今日も元気でおはようございます！！

(岩手県立久慈高等学校での指導の様子)



PTA会員の笑顔に迎えられ、生徒も笑顔で挨拶を交わしていました。

(秋田県立小坂高等学校での指導の様子)



生徒とPTAが合同で元気よく挨拶運動を行っています。

(宮城県白石高等学校での指導の様子)



元気よく挨拶を返してくれる生徒が多く、私たちも笑顔になりました。

(福島県立長沼高等学校での指導の様子)



出勤前の忙しい時間帯にPTAの方が県連で作成した横断幕や幟旗を手に服装指導に協力して下さいました。

(山形県立寒河江工業高等学校での指導の様子)



学校祭の朝に実施しました。普段と違う光景に、はにかみながら挨拶する生徒が多く見られました。

成果と課題

- 回数を重ねるごとに習慣化して、笑顔で返事が返ってくるようになってきた。
- 駅での一声運動は他校の生徒にも声を掛けられる。こうした地域活動は特に地方では重要である。
- 県P連作成の横断幕や幟旗を持っての指導は、取り組みへのPTAの意気込みが生徒に伝わったと思う。
- マナーアップ運動期間以外でも、常日頃からマナーを徹底させることも必要である。
- 保護者の勤務時間の関係上、PTAの参加率を上げるのはなかなか難しい。

平成29年度「登校時一声運動・マナーアップ運動」取組状況(アンケート結果より)

1. 実施校

	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島	H29	H28	H27
実施報告校数	73	63	60	48	47	70	361	374	391
対象学校数	87	66	67	69	50	90	429	450	452
実施報告率	83.9	95.5	89.6	69.6	94.0	77.8	84.1	83.1	86.5

2. 実施日数

1～2日	25	36	16	20	16	37	150	179	183
3～4日	20	16	21	12	24	15	108	106	122
5～6日	16	4	13	9	6	8	56	50	46
通年・その他	9	7	10	2	1	7	36	33	36

3. 主な実施場所

校門・昇降口周辺	66	56	54	41	42	56	315	339	349
校舎内・校地内	18	9	13	6	11	9	66	74	70
通学路・学校周辺	17	18	19	12	22	15	103	119	124
駅・地域等	10	11	13	10	20	16	80	78	89
その他	3	0	0	1	1	0	5	6	6

4. 実施時間帯

始業前15～30分	60	58	50	37	37	45	287	309	322
始業前後60分程度	7	2	9	9	6	15	48	39	45
下校時にも実施	6	0	8	2	3	4	23	33	31
その他	3	5	4	5	2	5	24	20	25

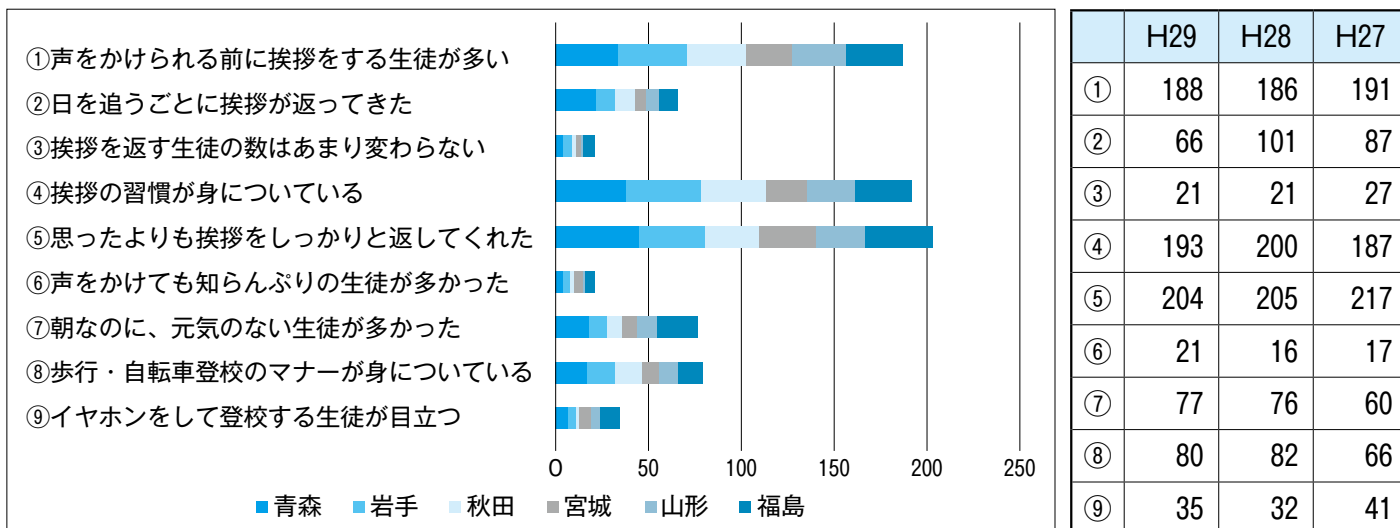
5. 参加人数等 (PTA)

延べ人数	1,757	1,023	959	943	858	1,028	6,568	6,768	6,763
1日あたりの人数	7.7	6.2	5.7	5.3	6.3	7.0	6.4	6.7	7.0

6. その他の協力者の参加 (複数回答可)

生徒・生徒会・教職員	38	44	38	25	31	35	211	218	211
教職員のみ	34	24	24	20	21	41	164	183	195
地域・近隣高校・関係機関	1	7	8	3	1	3	23	32	32
その他	0	1	2	0	1	0	4	5	9
単独実施 (PTAのみ)	0	0	0	3	0	1	4	14	10

7. 生徒の反応および担当者の感想 (複数回答可) 東北六県の合計





絆を育むPTA活動 ～親子の絆を深め、地域とつながる～

社会環境が早い速度で変化する中、生徒一人ひとりが「生きる力」を身に付け、明確な目的意識を持って日々の学校生活に取り組みながら、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や、各人の多様性を尊重し、強みや違いを生かして、協働的に課題を解決していく力を高めることが一層求められています。家庭・学校・地域をはじめ、関係機関と連携・協力しながら、「いのちをつなぐ人」「学び続ける人」「地域とつながる人」の育成を図るとともに、広い視野と高い志を持ち、たくましく生きる高校生を育てるPTA活動を紹介します。

「高校生の子どもとの接し方」—— 青森県高P連合同研修会

9月26日青森県総合社会教育センターにおいて平成29年度青森県高P連合同研修会を開催しました。明治大学文学部教授・教育学博士 諸富 祥彦 氏から「高校生の子どもとの接し方」～子どもの意欲を育てるために～というテーマで講演して頂きました。「子育ては先が読めません！子育てに上手くいくというマニュアルはありません！」とのお話しに会場は笑いの渦に。そしてこの時期一番大切なことは、どんな時もどっしりと構え、子どもを信頼し、あせらず見守ることが親の役割であることを学びました。



「思春期講座参観」—— 岩手県立久慈高等学校

本校PTA活動の新たな試みとして、生徒対象に開催される思春期講座をPTA役員が参観しました。助産師を講師に迎え、命の大切さ・心と体の変化・性の健康問題などについて学びを深め、主体的に考えて適切な行動を選択できる生徒を育成することを目的に実施されました。多忙な中参観した役員からは、難しい年頃のしかも性に関わる問題について真剣に耳を傾け、発問に答える我が子らの姿に感心したこと、我が子らが抱える問題点について同じ視点から考える機会を持てたこと等の感想が述べられました。



「地域を共に生きる大人として」—— 秋田県立矢島高等学校

創立92年、校舎一体型中高連携校9年目の本校では、教育活動全般を通して地域住民の活動に参画し、郷土を理解し郷土への愛着と誇りそして絆を育んでいます。そのような中でのPTA活動は、保護者と職員が地域の一員であることを大事にしています。地区の保護者と職員の繋がりを作る「地区PTA」。地区を越えた保護者の繋がりを作る「学校祭PTA屋台」。保護者OBも参加する「PTA研修旅行」。楽しみながら生まれた関係はそれぞれの枠を越えて「PTAのOB会」へと発展し、学校の応援団として動き出しています。



「清掃奉仕活動の保護者によるボランティア協力」—— 宮城県白石高等学校

本校では、白石市に清掃依頼をされた区域（サンキューロード）の美化活動を年2回（10月と11月）1年生徒が主になりボランティアを行っています。その活動に健全育成委員会のメンバーが参加協力し、年を重ねるごとにその人数も増えています。普段見ることのない生徒の様子を伺いながら、楽しく会話をしたり、草刈りなど初めての生徒には鎌の使い方を指導するなど、貴重な交流の場ともなっており、PTA活動に活気を与えています。



「長高ねぶたを支えるもの」—— 福島県立長沼高等学校

今年も9月の第2土曜日に地区の「長沼まつり」が開催され、本校から大勢の生徒や教職員、保護者、各種団体役員の方々が参加し祭りを盛り上げました。生徒のねぶた制作に始まり、同窓会やねぶた後援会の方々からのご寄付を受け、保護者の方々には当日の浴衣の着付け、ねぶたの運搬や会場での警備等の協力もいただきました。まつりに協賛を始めて27年目ですが、長沼高校を支えて下さっている皆さまの熱い思いが、長高ねぶたの歴史を一つ一つ積み重ねているものと思います。（今年のモチーフは三国志の「呂布」）



「地区PTAボランティア活動」—— 山形県立寒河江工業高等学校

本校では、11地区に分かれた「地区PTA」が、公園や河川敷のごみ拾い、保育園や老人ホームの清掃や草刈りなどのボランティア活動を行っています。土・日曜日や早朝に活動することが多く大変な面もありますが、地域のために親子で活動できる数少ない機会なので、これからも大事にしていきたいと思っています。この活動を、地区ごとに模造紙1枚に活動写真をまとめ、学校祭で展示しています。

